

JPI 催しのご案内

第10回

パッケージイノベーションセミナー

—包装における課題解決のための新素材や既存素材の新たな展開—

開催日：令和2年3月27日(金)

会場：AP日本橋 Fルーム

主催：公益社団法人日本包装技術協会

■開催にあたって

当会では、新しい包装の価値を創出するような情報や技術をジャンルにこだわらず紹介する「パッケージイノベーションセミナー」を開催しております。今回は素材に着目し、新素材の動向、既存素材の進化や新たな展開、素材を感性から感じ新たな発見やアイデアを考える試みの紹介等でプログラムを編成しております。

従来の発想にとらわれない新たな包装を考えるヒントとなればと考えます。

どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

プログラム

時間	講演テーマ	講師
10:00 ▼ 11:10	『石灰石からつくる革新的新素材 LIMEX —サステナビリティ革命に向けた挑戦—』 石灰石を主原料にして、紙やプラスチックの代替となる、日本発の革新的新素材「LIMEX」。水や木材パルプ、石油由来樹脂の使用量を抑えて、紙やプラスチックの代替製品をつくることのできる、地球環境に配慮した新素材として、世界から注目を集めています。世界的に加速するプラスチック規制の動きを受け、包材業界においても環境に配慮した素材のニーズが高まっています。新素材 LIMEX の普及を通じて、資源枯渇やプラスチック問題、気候変動の課題解決に貢献することで、エコロジーとエコノミーを両立した循環型社会の実現を目指す、「サステナビリティ革命」についてご紹介します。	株式会社 TBM 開発・生産本部/リエゾン 多田 貴則 氏
11:20 ▼ 12:30	『粘土を主成分とする膜と包装材料への展開』 食品包装や電子デバイス用フィルムで高いガスバリア性が求められている。特に最近では有機系電子デバイスで、酸素ガスバリア性に加えて、非常に高い水蒸気バリア性が要求される場合がある。これらの社会ニーズにこたえるべく産業技術総合研究所は 2004 年に、粘土を主成分とするガスバリア膜「クレースト」の開発に成功した。この膜は粘土の中でも特に自己成膜性に優れた「スメクタイト」と呼ばれる粘土を用い、必要量の有機バインダーを添加し、ソリューションキャストリングによりガスバリア性塗膜を製造するものである。クレーストはロール状の膜として製造することが可能であり、耐熱性、ガスバリア性が特徴である。さらに、有色不純物を含まない、合成のスメクタイトを用いて、透明な膜を作製することもできる。このクレーストの技術を用いた PET ベースガスバリア性透明柔軟フィルムは自己修復性を持つことが発見された。 本講演では、クレーストの基礎から包装材料への応用を含め紹介する。	産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 首席研究員 蛸名 武雄 氏
13:30 ▼ 14:40	『部活から始めるイノベーション ～B2B企業とクリエイティブの出会い～』 1990 年代初頭まで日本の国際競争力は No1 として評価されていたものの、2017 年には OECD 加盟国最低の 25 位にまでランクを落としています。これは、世の中の付加価値の主体が製造業からサービスへと移行していることに由来しますが、日本における本質的な問題は製造業含めて日本のシステムがイノベーションを起こすことに適していないことにあると考えます。それは、製造業の効率化とコストダウン至上主義による強固な分業体制と組織分化・文化にあるのではないのでしょうか。そうした仮説に、広報という立場から組織横断的な取り組みの場を興し、効率化だけではなく、新しい価値を生み出すプロセスを実験的につくっていくという思いで、「素材の魅力ラボ～ MOLp ～」という活動をスタートさせています。 今回、MOLp という部活動から生まれたプロダクトやその背景、思考をご紹介します。化学や素材は常に世の中の変化の交差点に存在する独特な業種です。あらゆる産業と関わりがあり、イノベーションの起点を遡ると、常に素材産業での革新が見られます。世の中の変化に敏感に、そしてイノベーションの場に自分たちが存在するためには、より広い視野とコミュニケーション能力が求められています。	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 松永 有理 氏
14:50 ▼ 16:00	『植物由来の透明な紙「セルロースフィルム」の環境適性と包装材への応用』 セルロースフィルムは木材パルプから作られた、生分解性を有するバイオマス素材である。 歴史は意外と古く、プラスチックが開発される前から存在していた。我々はこのフィルムをコンポスト適性や海洋分解性などの環境ニーズに合わせながら着々と進歩させ、新しい次世代フィルムとして世界に展開することとなった。 今回はこのフィルムの特性だけでなくブランド戦略や昨今の環境問題の原因とも絡めながら、この古くて新しい技術を解説する。	フタムラ化学株式会社 中部統括 開発グループ グループリーダー 花市 岳 氏

講演者ご紹介

●多田 貴則 (タダ タカノリ) 氏

株式会社 TBM 開発・生産本部/リエゾン

北海道大学大学院在籍中は、分析科学研究室に所属し、「光」をキーワードに、研究を行う。

大学院卒業後は、2016年に三井化学株式会社の研究開発部門に入社し、機能性オレフィン樹脂の開発、主に新製品向けの研究開発を中心に携る。また、当該新製品の市場開発における、マーケティング活動、営業活動と幅広く従事。

●蛸名 武雄 (エビナ タケオ) 氏

産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 首席研究員

平成5年 東北大学大学院工学研究科博士後期過程修了(化学工学)

平成5年 通産省工技院東北工業技術研究所研究官

平成11年 カリフォルニア大学サンタバーバラ校在外研究

平成18年 コンバクト化学プロセス研究センター材料プロセッシングチーム長

平成25年 産業技術総合研究所 首席研究員

*著書 「きちんとわかる環境共生化学」(共著)(白日社)

「有機エレクトロニクス封止・バリア技術の開発」(著) (シーエムシー出版)

●松永 有理 (マツナガ ユウリ) 氏

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部

2002年 三井化学株式会社入社。

食品パッケージなどの素材であるポリオレフィン樹脂の営業、マーケティングを経て、2011年6月より現職。2015年より組織横断的オープンラボラトリー「そざいの魅カラボ(MOLp®)」を設立、B2B企業における新しいブランディング・PRの形を実践している。

PRSJ認定PRプランナー

●花市 岳 (ハナイチ タカシ) 氏

フタムラ化学株式会社 中部統括 開発グループ グループリーダー

1996年 二村化学工業株式会社(現フタムラ化学)入社

当時タイオキシン問題が取り沙汰されていたため、それに対応したフィルムの開発やフードロスに貢献する鮮度保持フィルムを担当する。

2016年 セルロースを使った環境対応フィルムを担当したのをきっかけに、プラスチックの環境問題の実態把握・調査も行うようになる。

開催要領

日時：令和2年3月27日(金) 10:00~16:00

会場：AP日本橋 フローム

東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント6F

定員：100名

1名分参加費 (配布資料代含む)	会員	会員 (3名割引1名あたり)	一般
本体	19,000円	15,000円	26,000円
消費税10%	1,900円	1,500円	2,600円
税込合計	20,900円	16,500円	28,600円

申し込み方法

■下記申込書に必要事項を全て記入の上、FAXにてお申し込みください
協会 HP からの申し込みも出来ます。協会 HP：http://www.jpi.or.jp

■申込みされた方には後日参加証と請求書をお送りします

■開催 1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方がご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。
(当日、名刺をご提出いただけます)

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第10回パッケージイノベーションセミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

【会場案内図】

AP日本橋 フローム

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント6F
TEL.03-3273-3109

■交通手段：東京メトロ銀座線「日本橋駅」B1出口より徒歩2分
JR「東京駅」八重洲中央口より徒歩5分



お問い合わせ並びにお申し込み先

公益社団法人日本包装技術協会

パッケージイノベーションセミナー係 担当：竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL. 03(3543)1189 / FAX. 03(3543)8970 e-mail: takeuchi@jpi.or.jp

第10回パッケージイノベーションセミナー参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内行

FAX.03-3543-8970

No.

会社名						JPI 会員・一般 (どちらかに○をつけて下さい)
所在地	(〒)					
電話				FAX		
受講者	氏名			所属役職	e-mail	
	氏名			所属役職	e-mail	
	氏名			所属役職	e-mail	